

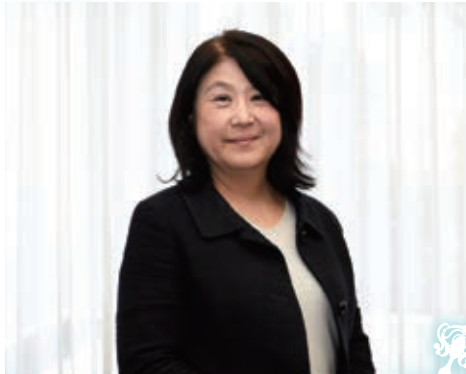
働き続けたい。その想いを支える 職業訓練指導員

テクノインストラクター

先の見えない時代、”手に職を持つ”ことの価値は高まっています。ものづくりが好き、教えることが好き。そんな想いを抱く人がまっすぐな気持ちで向き合えるお仕事をご紹介します。

新しい自分に出会うための「リカレント教育」

人生100年時代を生き抜くためには、これまでの価値観にとらわれず、新しい自分に出会うための「リカレント教育(学び直し)」が一つの力ギになります。リカレントとは、「反復」「循環」という意味。リカレント教育は、社会人になってからも、キャリアアップや生きがいのために、生涯にわたり繰り返し教育を受けることです。学び直しで得た知識やスキルを転職や再就職などに活かす方も多くいらっしゃいます。結婚、出産など人生の転機以外にも、自然災害など想定外の転機も起こりやすい今、新たな人生を踏み出すきっかけを作る、リカレント教育に注目が集まっています。



職業能力開発総合大学校
博士(工学) 新目 真紀 准教授

ニーズが高まる注目の仕事、「テクノインストラクター」

リカレント教育のニーズの高まりとともに、職業教育・訓練の「場」と、それを「支える人材」の必要性は増えています。中でも、ものづくりに特化して、知識や技能を教え、就職支援などを行っている「テクノインストラクター」という仕事をぜひ知っていただきたいです。テクノインストラクターは、ポリテクセンターなどで、求職者や在職者、学卒者、障害者などを対象に教えています。その役割は、ものづくりの経験がない受講者にも分かりやすく教えるのももちろん、就職後も見据えて、新しい職場でいきいきと働けるような人材育成も担っています。例えば、長く離職されていた受講者が、職業訓練の中で、社会復帰への自信を取り戻すように心に寄り添っていくのも大切な仕事です。また、専門職だからこそ長く仕事を続けられる安心感もあります。そのテクノインストラクターを養成する学校が「職業能力開発総合大学校」(東京都小平市)です。厚生労働省が所管する「省庁大学校」で、学生の半数近くがテクノインストラクターを目指しています。富山県内では、富山県技術専門学院や北陸職業能力開発大学校、ポリテクセンター富山などで、多くの本校出身者が働いています。

まだ一般的には認知が低く、馴染みがないかもしれませんが、今後ニーズが高まる注目の職業だと思います。ものづくりに興味がある若い世代には、将来の進路の一つとして、選択肢に入れていただけたら嬉しいですね。

職業能力開発総合大学校の特色 ※以下、職業大

- Point 1** 就職率は5年連続100%
テクノインストラクターとして活躍するだけでなく、実践力が高く評価され、約半数が民間企業へ
- Point 2** 授業料・入学金などは国立大学標準額と同額
国が設置する学校だから、学費も安心。
- Point 3** 実験・実習重視でスキルを磨く
少人数制だから、1人1台の機器を使いしっかりした技術を身に付けられる!
- Point 4** 学士と国家資格を同時に取得可能
大卒と同じ「学士」と国家資格である「職業訓練指導員」の免許を取得可能



多くの方に、職業大やテクノインストラクターを知ってもらいたい

子どもの頃の夢は、一級建築士。その夢を叶えようと、建築専攻がある学校を目指し、他校と比べて実習時間が多いことを魅力に感じ、職業大を選びました。最近の実習では、セメントや砂利などの割合を自分で計算し、コンクリートを作りました。この先、木造住宅を造るという実習もあるので、楽しみにしています。座学も実習も専門的で難しいですが先生たちは皆熱心で丁寧に教えてくれるので、高校は普通科だった私も、授業に付いていくことができます。

勉強以外では、バレーボールサークルと建築研究会に所属し、他学年の学生との交流も楽しんでいます。男女がみんな仲良しで、女子学生が少ないと寂しい思いをすることはありません。

将来、私は地元である富山で就職したいと思っています。就職先の選択肢には、テクノインストラクターも入っています。職業大は、テクノインストラクターへの道が拓ける学びがあります。実習経験をそのまま社会で活かせると思うので、一人でも多くの方に、職業大やテクノインストラクターという仕事を知ってほしいです。



建築専攻 2年
宮本 佳奈さん(南砺市出身)

